

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RB1	科名	ファッション流通科1年	単位	2単位
科目コード		科目名	コンピューターワーク	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 高橋 翼	共同担当者 : 塚田 大祐
-----------------	---------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
 オフィス系及びグラフィック系のソフトの基本操作を学びながら、目的・用途に応じた使い分けを可能にし、表現方法に広がりを持たせることを目標とする。
 ・グラフィック系ソフト: Adobe Illustrator / Photoshop ・オフィス系ソフト: Microsoft Excel / PowerPoint

- オリエンテーション
 - 教室利用の注意事項、ログイン方法、タイピング練習など
- PowerPoint
 - ツール基本操作、スライドの作成、画像の利用、アニメーション・画面切り替えの設定など
- Excel
 - 表作成および四則演算、基本関数、グラフ作成など
- Photoshop
 - 画基本操作、画像の切抜き方法（マスクの理解）と画像合成
 - 各種画像フォーマットのデータ保存など
- Illustrator
 - 基本操作（図形描画、文字入力、着色、図形の変形、レイヤーの理解など）
 - 図形を組み合わせたイラストの作成
- 産学プロジェクト
 - ポスター、カタログ、DM、パワポなどの資料作成など
- Photoshop / Illustratorの連携操作による課題制作
 - 画像の配置とリンク・画像ファイルの管理方法の説明
 - 画像、図形、文字を組み合わせたレイアウトの基本と各種データ保存

【評価方法】
 評価基準：学業評価70%、授業姿勢10%、出席率20%

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
 パソコン初心者であることを前提に、ソフトの基礎・応用を課題制作を通して習得することができる。
 塚田 大祐
 Web サイトディレクション・制作・運営、DTPによるカタログ、チラシ制作を手掛けながら、企業・大学・専門学校にて、Web デザイン・グラフィックデザイン・オフィスソフトの基本操作や目的・用途別の使用方法と表現方法についての授業を20年以上に渡り実施。
 高橋 翼
 デザイン事務所、デザイン専門学校学科長、アウトドアスポーツメーカーを経て現在に至る。ファッションやプロダクト、サステナブル分野を中心にデザイン活動、教育、ワークショップなど幅広く活動。

記載者氏名 高橋 翼

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RE2	科名 ファッション流通科2年リテールプランニングコース	単位	2単位
科目コード 605600	科目名 ビジュアルマーチャндаイジング	授業期間	通年

担当教員(代表): 渡邊純子	共同担当者:
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
 五感に訴える売り場づくりの戦略であるVMDの基礎知識とテクニックを習得する。
 実店舗におけるVMD計画を企画し、実社会でも活用できるようにする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
VMDとは何か [お店のGOOD&BAD・VMDの相関図・見せ場と買い場・購買心理]	講義	3
VMDの目的と役割 [導線・ゴールデンゾーン]	講義	1
MP (VP・PP・IP)について [マネキン&ボディについて・基本構成・商品陳列]	講義・グループ演習	2
特別講義「ウィンドウディスプレイができるまで」	講義	1
文化祭 RETENT 店づくりについて (店舗イメージ・什器について・レイアウト図作成)	講義・グループ活動	2
文化祭 RETENT エントランス展示を考える	グループ活動・演習	2
文化祭 RETENT WEB接客のセットを考える	グループ活動・演習	2
文化祭 RETENT POP UP SHOP について (店舗レイアウト図・ゾーニング計画を作成)	グループ活動・演習	2
ディスプレイテクニック [テグスワーク・ピンナップ・ピンワーク]	講義・グループ演習	3
商品POPについて	講義・演習	1
課題「仮想店舗におけるVMD計画」企画書作成&演習 プレゼンテーション	個人企画・演習	8

【評価方法】
 S~C・F評価 学業評価60% 授業姿勢40%

主要教材図書 文化ファッション大系ファッション流通講座⑧「ディスプレイ・VP・VMD」文化出版
参考図書
その他資料 配布プリント

授業の特徴と担当教員紹介
 百貨店、大型商業施設、展示会にてVMDの企画・デザイン・施工に携わる。その実績を活かし講義と実技の両方向でVMDを伝える。
 グループにて文化祭のショップ『RETENT』のVMDに取り組み、最終課題では個人企画を考える。
 「商品装飾展示技能検定」を推奨しており、受検対象者には対策のセミナーを行う。

記載者氏名 渡邊純子

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名	ファッション流通科2年リテールプランニングコース	単位	1単位
科目コード	科目名	商品企画演習	授業期間	前期

担当教員(代表)：佐藤 雄太郎	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 実践型カリキュラムとして取り組んでいるRE・TENTにおいて必要なオリジナル商品企画について学ぶ。
 商品企画、生産、加工、品質管理など、さまざまな演習を通して実際の商品企画に役立てる。

<p>第1ステップ 商品企画 (3コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の目的、概要、授業の進め方を説明／実習条件の解説 ・ ショップ企画のための商品リサーチ ・ リサーチまとめ <p>第2ステップ 生産管理 (5コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約書作成 ・ 縫製仕様書／加工指示書の作成 ・ RETENTで販売するアイテムのデザイン制作 ・ ビジネスメール作成と発注 <p>第3ステップ 品質管理 商品管理 (2コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 繊維製品を取り巻く法律を学ぶ ・ プライスタグ／アテンションタグ制作 <p>第5ステップ 販売計画 (3コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売計画①店頭での販売方法（接客トーク・商品陳列） ・ 販売計画②WEBでの販売方法（掲載写真・テキスト作成） ・ サンプルチェック（検品）について

評価方法・対象・比重
 S～C・F評価 評価基準：学業評価50%、授業姿勢50%

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

記載者書名欄 佐藤 雄太郎

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	13532	科名	ファッション流通科2年リテールプランニングコース	単位	1単位
科目コード	609000	科目名	セールスプロモーション	授業期間	通年(隔週)

担当教員(代表) : 藤岡 麻生	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

セールスにおいて重要な「ブランディング論」と「世の中の時流」を交えながら、実際の業界での動き方や考え方などの知識を得る事を目標とする。実際に「今」業界で起きている事も教え、即戦力となれる様、促す。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1、市場の理解(2コマ)

直近5カ年の業界の推移の説明
with COVID_19

2、ブランディング論(2コマ)

ブランディングとコンセプトの関係性の理解
世界観と独自価値の理解

3、リテント実施に向けて(3コマ~4コマ)

「強み」の抽出とその活用の仕方の説明
販売促進とその準備(計画立案)の説明

4、制作物とストーリー作成(2コマ~3コマ)

世界観の統一の為にすべき事の習得
撮影に向けた一般知識の習得

5、SNSの活用(3コマ~4コマ)

一般業界用語とその活用方法
業界で活用されているテクニック

【評価方法】

S~C・F評価 : instagramの解説に伴うENG率

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業において、卸、EC、商品管理、宣伝、営業など事業全般に携わった経験をもとに、基本的なプロモーション手法の理解と共に、常に変化に対応できるように、企画力、対応力、柔軟性を高めるための授業を実施。

記載者氏名 藤岡 麻生